

# 中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）



## コロナに負けるな

会長 木村 一郎



本来ならば令和2年5月17日(日)にルブラ王山にて開催される予定の総会が、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のために中止となり、同年7月5日(日)に中村高等学校視聴覚室にて総会が開催されました。そこで、令和2・3年度役員改選に伴い、第11代伊藤義人会長の後任として中村会の会長を拝命しました。会長のほか副会長3名も新たに任命され、太田守彦氏(財務部会長)、丹後茂氏(広報部会長)、高木靖之氏(総務部会長)の各副会長とともに新体制で臨むこととなりました。

一昨年の12月に中国武漢で確認された新型コロナ肺炎は、瞬く間に全世界に広がり各国で猛威を振っています。単に感染症そのものの対策だけではなく、国を挙げての経済活動など様々な領域でこれまでにない対応を強いられています。いろいろな場面で我慢を求められ、皆さんよく耐えておられると思います。また、このような境遇の中、新たな工夫を講じてコロナに対抗しようとしておられる方々も多くおいでのことでしょう。これからも社会全体でイノベーションが必要に迫られることとなるでしょう。現場の教職員の皆様は現役生のために日々奮闘しておられます。我々同窓生の中にもコロナの影響を受け、大きな打撃を受けている方がおいでだと思います。今こそ中村会の会員同志が力を合わせてコロナを打ち負け、未来に光を灯しましょう。

## 会報の発刊によせて

校長 渡邊 修



同窓会の皆様には、日頃から母校の教育活動に深いご理解と多大なご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。とりわけ今年度は、中庭の部室改築工事が6月に完了しました。資金確保に向けての準備や手続き、施工計画などの中心となっていたいただいた同窓会の方々、募金に協力いただいた多くの卒業生やPTAの方々にあらためて感謝申し上げます。おかげさまで、竣工式での生徒たちは喜び一杯の表情にあふれていました。皆様への感謝の気持ちを忘れず大切に使い続けていってほしいと思います。

さて、一方で今年度は、感染症拡大の影響を受けた長期の臨時休業の中で新年度が始まり、学校が再開された後も部活動の大会、学校行事、国際交流事業など様々な教育活動が、縮小あるいは中止となっています。しかし、こうした状況にあっても、10月には34回生の田中和生様を講師にお迎えして、第26回中村未来塾を開催することができました。本校国際理解コースのアドバイザーもお願いしている田中さんは、講演の中でチームで力を合わせる大切さや、そうした人の群れの中で自分を磨き挑戦することの大切さを語ってくれました。「積極的に多様な価値観と交流し、互いに協力し合うことで、自分の幸せを大勢の幸せへと飛躍させることができる」というメッセージは、真剣な表情で聞いていた生徒たちの胸にしっかりと届いたことと思います。世界がコロナ禍の渦中にある今だからこそ、不自由に見える新しい日常を、前向きに生き抜くヒントにもなるに違いありません。

最後になりましたが、同窓会の皆様のみますますのご活躍を祈念申し上げますとともに、母校の発展のために今後とも変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

# 第65回 中村会 総会

新型コロナウイルス感染症の影響で、ルブラ王山にて令和2年5月17日(日)に予定していた総会・懇親会は中止となりました。感染拡大が一時的に落ち着いた7月5日(日)、中村高校視聴覚教室にて令和2年度の総会及び部室改築募金委員会報告を開催しました。

## 【総会】

総会では、令和元年度事業・決算報告と令和2年度事業計画・予算を承認いただきました。

また、今年度は役員改選の年にあたっており、提案された令和2・3年度の役員案も承認いただきました。これにより、新体制での新年度事業がスタートしました。



会長 木村 一郎 (18回生)

この度、中村高校同窓会「中村会」の会長を仰せつかりました。

微力ながら、高木、太田、丹後各副会長並びに役員の皆様にご協力いただき職務を進めてまいりたいと存じます。今後は、同窓会及び中村高等学校の発展に尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



副会長 太田 守彦 (22回生)

財務を担当させていただきます。

コロナ禍の中ですが、同窓生のつながりを広げていきたいと思っておりますので、財政面でのご支援も宜しくお願いいたします。



副会長 高木 靖之 (26回生)

この度、中村高校同窓会「中村会」の副会長を仰せつかりました。

誠に微力ではございますが、先輩各位ならびに先生方のご助言、ご協力を仰ぎながら、全力で在校生を支え、また同窓会の発展と、学校づくりのお手伝いに尽力していく所存です。



副会長 丹後 茂 (29回生)

広報を担当させていただきます。

今までと違った形で母校のために働けることに喜びを感じています。母校や中村会について、一人でも多くの同窓生の方に関心を持っていただけるよう、微力ながら力を尽くしたいと思います。

## 総会・講演会・懇親会の御案内

日時 令和3年5月23日(日) 11:00~14:30  
会場 ルブラ王山(地下鉄東山線「池下」駅下車、東へ徒歩3分)  
名古屋市千種区覚王山通8-18  
電話 052-762-3151

次第 受付 10:30~11:00  
総会 11:00~11:30  
講演会 11:30~12:30  
懇親会 12:40~14:30

会費 懇親会のみ有料(当日お支払いください)  
一般会員 5,000円 学生会員 1,000円  
○今年の卒業生(66回生)は無料

申込 出席の場合は、同封のハガキにより、4月23日(金)までに投函し、事務局へお知らせください。  
欠席の場合は連絡の必要はありません。

◎講演会は昨年度中村未来塾でも講演いただいた、三居弘典さん(45回生)。2000年ヨーヨー世界チャンピオンで、高校時代からヨーヨーに魅せられ、海外にも挑戦されたご経験から講演をいただきます。世界レベルのヨーヨーの実演も見られるかも!



◎懇親会では恒例のチャリティーオークションも行います。大相撲グッズ、プロ野球グッズなど、今回も入手困難な商品を着々と準備しています。ぜひ総会・懇親会に奮ってご参加ください!

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、内容の変更・縮小、あるいは中止となる場合もございます。ご了承ください。

# 令和元年度事業報告

## ◆令和元年度 中村会 役員

会 長 伊藤 義人 (16回生)  
 副 会 長 水野 圭爾 (26回生 財務担当)  
           祖父江 隆 (45回生 総務担当)  
           古木 啓介 (47回生 広報担当)  
 事務局長 山口有里子 (36回生)  
 会 計 江口 基 (42回生)  
 監 査 太田 守彦 (22回生)  
           伊藤 太亮 (45回生)

## ◆令和元年度 中村会 事業報告

- 1 総会及び講演会の開催
- 2 会報の発行 (第17号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施
- 11 部室の改築に向けての募金活動
- 12 部室改築設計施工への支援

## 令和元年度 中村会 決算報告

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額①	執行額②	差額②-①	備 考
前年度繰越金	4,021,659	4,021,659	0	
入 会 金	1,750,000	1,750,000	0	卒業生350名×5,000円
雑 収 入	341	0	-341	
計	5,772,000	5,771,659	-341	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額④	執行額⑤	差額④-⑤	備 考
事 業 費	100,000	0	100,000	総会講演会謝礼
HP 運営費	350,000	321,848	28,512	プロバイダー(ASAHI ネット12ヶ月分)管理改修費 ¥21,600×12ヶ月
通 信 費	450,000	515,624	-65,624	料金後納・総会案内発送 発送作業外注 ¥101,200
会 報 費	400,000	320,088	79,912	会報17号印刷、 封筒・返信用ハガキ作成
総会施設費	70,000	50,500	19,500	
名簿管理費	180,000	475,463	-295,463	データ管理、データ出力 会員データ返却(廣済堂) ¥319,000
諸 雑 費	10,000	3,934	6,066	振込手数料
慶 弔 費	40,000	0	40,000	上級大会出場祝金
会 議 費	5,000	0	5,000	
予 備 費	100,000	0	100,000	
繰 越 金	4,067,000	0	4,067,000	
計	5,772,000	1,687,457	4,084,543	

残高の部 (単位：円)

収入額計	支出額計	次年度繰越金
5,771,659	1,687,457	4,084,202

# 令和2年度事業計画

## ◆令和2年度 中村会 役員

会 長 木村 一郎 (18回生)  
 副 会 長 太田 守彦 (22回生 財務担当)  
           高木 靖之 (26回生 総務担当)  
           丹後 茂 (29回生 広報担当)  
 事務局長 佐野 好宏 (30回生)  
 会 計 江口 基 (42回生)  
 監 査 水野 圭爾 (26回生)

## ◆令和2年度 中村会 事業計画

- 1 総会の開催
- 2 会報の発行 (第18号)
- 3 HP の運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 運営業務の効率化
- 11 70周年にむけての準備

## 令和2年度 中村会 予算

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	備 考
前年度繰越金	4,084,202	
入 会 金	1,555,000	5,000円×311名 (令和2年度 第3学年 4月時在籍数 66回生)
雑 収 入	298	
計	5,639,500	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	備 考
事 業 費	100,000	総会経費、奨学金
HP 運 営 費	350,000	HP メンテナンス料金等
通 信 費	600,000	会報発送等
会 報 費	400,000	会報・封筒・ハガキ作成
総 会 施 設 費	0	総会会場使用料
名 簿 管 理 費	180,000	新規入力、変更、削除
諸 雑 費	10,000	振込手数料
慶 弔 費	40,000	上級大会出場祝金
会 議 費	10,000	役員会
予 備 費	100,000	
繰 越 金	3,849,500	
計	5,639,500	

# 母校支援プロジェクト「部室改築募金」へのご協力ありがとうございました!

平成30年(2018年)から2年間にわたり行った母校中庭の部室改築(大規模改修工事)プロジェクトは、総額約1200万円の寄付を募ることが出来、昨年6月に工事を完了し、新しい部室の鍵を各部の現役生徒のみなさんに手渡しました。完成にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

## ●部室の歴史

部室はもともとは自転車置き場だった——卒業アルバムをさかのぼってチェックすると、1962(昭和37)年のアルバムには「自転車置き場」として登場。それからしばらくは自転車置き場だったものが、1969(昭和44)年には壁がついて部室になっていました。2020年で部室になって50周年。多くの卒業生が思い出を残してきた部室でした。



(1962年)



(1969年)

## ●工事前の状況

北面に4室、南面に4室の計8室。ドアや壁はボロボロで、屋根には穴が開き雨漏りする部屋も。



## ●工事完了後

出入口は南面にまとめられ、奥行きのある8室に生まれ変わりました。



## ●部室の引き渡し(令和2年6月)



(校長先生へ目録贈呈)



(各部への鍵渡し)



(カウントダウンをしてドアをオープン。歓声が広がりました。)



(壁面には寄付者銘板を取り付けました)

新しい部室は卓球部・剣道部、体操部、ダンス部、バドミントン部、バレーボール部(男子)、バレーボール部(女子)、バスケットボール部、演劇部、が使用しています。

## 第26回 『人との和を広げる』

令和2年10月30日 中村高校体育館 **田中 和生さん** (34回生)  
(有限会社名峰 代表取締役)



講演の様子

田中さんは有限会社名峰 代表取締役を務めるなか、名古屋駅西地区リニア開業を見据えたまちづくり協議会の活動ならびに、異文化交流を促すイベント「ベトナムフェスティバル in 愛知」の事務局長、「韓国フェスティバル」実行委員長を務められています。

田中さんは、「日本で一番高くておいしいキムチ」を目標に、飲食店へのキムチの卸売り、韓国系レストランの経営をされており、そのなかで異文化交流のイベントやアジア少年野球大会など様々な可能性に挑戦をされています。目標である「高い」キムチというのは値段だけでなく「価値」が高いものを目指しており、おいしさでは2016年全国キムチグランプリ大会で優勝したほどです。

田中さんは、「公私どちらにおいても出会いを大切にしてきた。『仕事』は、収入を得て、学び、成長していくという、生きていくための自分づくりであるが、その中で多くの出会いが自分を上げてきた。なかでも、元中日ドラゴンズ監督の星野仙一氏との出会いでは『ネバーギブアップ』の考えを学び、また、星野氏のお力添えもあり、アジア少年野球の仕事につながった。



木村会長と田中さん

愛知県知事の大村秀章氏との出会いからは、考えを整理しやすく、人にも伝わりやすくなる『数字で把握すること』の大切さを学び、それらが、その後の仕事やプライベートへの刺激となり自身の成長につながった。また、自分の魅力の向上のための趣味など『個人の活動』においては、ZEPP 名古屋でパーティーをおこなった様々な職業の方との男声合唱団や、一生の仲間となっている経営者の方々との勉強会などの出会いの中から影響を受け、成長し、またつらい時には支えられている」と、話されました。

これらのエピソードを聞いて、田中さんがお話された「人とのつながり、出会いの中から人生のヒントを探す」や「感謝と素直な気持ちが人を成長させる」の箇所は後輩の在校生たちに是非、メッセージとして受け取って欲しいと思います。また、『仕事』を縦軸、『個人の活動』を横軸で表現されており、それぞれの出会いを大切に、挑戦し、経験を重ね、それぞれを伸ばしていくことが『人との和を広げる』ことなのだと、講演をまとめられました。

# 母校だより

「わが精鋭の中村健児」はどんな活躍を見せてくれているか、先輩としては興味津々！ 母校の現在の活躍を紹介

## ■新型コロナウイルス感染症の影響で年間行事計画が大幅に変更となる

母校だよりでは、活躍する部活動などを紹介してきましたが、本年度は異例な年でしたので趣をかけた内容とさせていただきます。

昨年度末から本年度末、中村高校は例年とはまるで違う様相でした。新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業の措置により、3月2日(月)より学校において主役である生徒不在の状況になりました。学校が再開されたのは、約3か月後の5月25日(月)のことでした。

臨時休業中、校内では生徒の安全を保ちながら教育活動を再開するために職員会議をはじめ何度も会議を開いてきました。その中で、授業が実施できなかった4・5月分の授業時間を確保するために大幅な年間行事計画の見直しを行わざるを得ませんでした。

8月と9月の行事予定をご覧ください。夏季休業を2週間に短縮した上に学校祭を中止し、授業時間を確保しました。また、新型コロナウイルス感染症の予防のためにベトナム研修もESC(イングリッシュサマーキャンプ)などの学校行事も断腸の思いで中止の決断をしました。

学校祭はリレーのバトンのように先輩から後輩へ中村高校の伝統を伝えていく大切な学校行事です。来年の2年生は学校祭を未経験のまま後輩を指導しなければならない立場になります。新2年生に対しては、未熟だからと言って教員がすべてを指導せず、じっくりと待ちながら途切れかけている学校祭の伝統を生徒が主体となって繋いでもらいたいと思います。

会報が皆様のお手元に届く頃、通常の日常生活に戻っていることを心から祈っています。

【中村高校教頭 佐野好宏先生(30回生) 令和2年12月記】

令和2年度行事計画

8月		9月	
1 土		1 火	
2 日	3年第2回全統共通テスト	2 水	
3 月		3 木	
4 火		4 金	
5 水		5 土	
6 木		6 日	
7 金	1学期最終日	7 月	
8 土		8 火	
9 日		9 水	
10 月	山の日	10 木	歯科② am
11 火	↑学校閉庁日	11 金	
12 水	↓日	12 土	
13 木		13 日	
14 金		14 月	検尿一次
15 土		15 火	検尿一次
16 日		16 水	
17 月		17 木	歯科③ am
18 火		18 金	
19 水	国際コース保護者説明会	19 土	
20 木		20 日	
21 金		21 月	敬老の日
22 土		22 火	秋分の日
23 日		23 水	
24 月	2学期開始日 検診 3年進路ガイダンス pm	24 木	歯科④ am
25 火		25 金	1・2年進路ガイダンス
26 水		26 土	
27 木	歯科① am	27 日	
28 金		28 月	
29 土		29 火	南山大学との連携
30 日	第2回全統記述模試	30 水	
31 月			
	夏季休業中補習		

# 「部室改築募金」 収支決算について

部室改築募金の収支については以下の通りです。

収入の部			支出の部		
寄付金	331件	11,902,400円	建物支出	工事費、設計料、銘板作成料	11,704,000円
同窓会からの組入		380,736円	委員会経費	印刷費、旅費、消耗品費、領収書等郵送料等	517,434円
雑収入		46円	その他経費	振込手数料負担分等	61,748円
合 計		12,283,182円	合 計		12,283,182円

ご協力ありがとうございました。

## ■賛助会費納入のお願い

●賛助会費 入金先  
郵便振替 00850-6-185948  
中村高校同窓会 賛助会費  
※振込手数料はご負担ください。

賛助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。同窓生の皆さんに毎年2,000円または終身50,000円の会費納入をお願いしています。

本会報同封の2種類の振込用紙（郵便局に加えてコンビニエンスストアでの納入も可能になりました）をご利用頂き、上記の口座へ納入をお願いいたします。

## ●賛助会費収支状況（令和元年度決算）

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
2,386,614	194,128	74,600	2,506,142

## ■同窓生で氏名・住所変更された方は事務局までご連絡ください。

事務局

TEL：052-411-7760（中村高校）

FAX：052-413-5357（中村高校）

E-mail：Web ページからご連絡ください。

## ■中村会ホームページ

<http://www.nakamurakai.gr.jp/>

## ■中村会 facebook ページ

<https://www.facebook.com/nakamurakai.aichi/>

## ■会報の発送について

会報は年1回、2月末に発行しており、賛助会費納入者および卒業回生の下一ケタを基準に5年に1度のサイクルで全卒業生の皆様に発送しています。今号は下一ケタが「1」「6」の回生が対象で、次号は「2」「7」の回生が対象となります。中村会ホームページでは毎号掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

## ■母校支援基金「英気の泉」への募金のお願い

●英気の泉 募金入金先  
三菱UFJ銀行柳橋支店 普通4709739  
英気の泉 萩原義昭  
※振込手数料はご負担ください。

母校支援基金「英気の泉」は、中村高校の在校生の諸活動に対する同窓会からの資金援助を行うための基金で、校歌の一節をとり、在校生の英気を資金面から援助する「泉」となっています。

最近では、在校生の海外短期留学や部活動の遠征交通費支援、部活動器具・道具の修理・購入などを行っています。

ぜひ在学生のためにこの泉を枯らさないように皆様のご厚志をよろしくお願いいたします。

## ●「英気の泉」収支状況（令和元年度決算）

前年度繰越金	当年度収入	当年度支出	次年度繰越金
1,231,074	725,006	613,608	1,342,472

## ●令和元年度援助事業

野球部応援バス代金補助	72,112円
中村ダンスフェスティバル中止義援金	30,000円
イングリッシュ・サマー・キャンプバス代金補助	359,496円
ベトナム派遣経費補助	152,000円

## ●令和元年度寄付者等（敬称略）

岡田順一様（元校長）、萩原義昭様（10回生）、マツモト様（15回生）、伊藤義人様（16回生）、22回生一同、総会時寄付およびオークション売上、PTA バザー売上